高等教育機関コンソーシアム和歌山公開講座
県民カレッジ中核講座（わかやま学講座）

CONSORTIUM WAKAYAMA

ふる里を探り ふる里を愛そう！

情報化・消費化社会と言われる現在、私たちの暮らしや環境は大きく変化してきています。地球温暖化・環境汚染など様々な問題が生じ、また人々の心の歪みや地域における人と人との関わり方などが問題となっています。

このような中、今、私たちは、人とのつながりの大切さを学び、地域に語り継がれてきた伝統・文化等に対する理解を深め、自然と共に生き、ふる里を愛する心を育むことが重要ではないかと考えます。

本講座では、このことについて受講者の皆さんと共に学び、語り合い、そして今後私たちはそのために一体何ができるのかを考えてみたいと思います。

主　催　高等教育機関コンソーシアム和歌山
NPO 法人アイヌ文化研究会

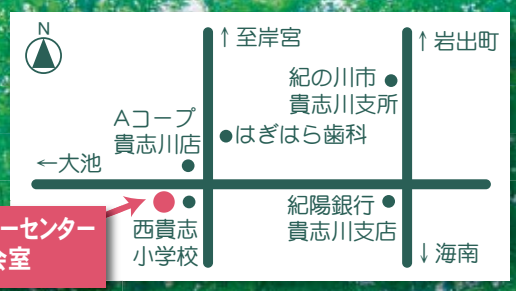
日時・内容

平成20年1月19日（土）13:30 ～ 15:30
演題「紀伊山地を守り伝えた心とは
～世界遺産、霊場に伝わる祈りの心～」
講師　高野山大学　教授　山陰　加春夫氏

平成20年2月16日（土）13:30 ～ 15:30
演題「熊野の生活誌～山の恵みを活かす智恵～」
講師　紀伊風土記の丘　学芸員　加藤　幸治氏

平成20年3月8日（土）13:30 ～ 15:30
演題「和歌山の豊かな干潟に棲む
カニや貝たちのユニークな生活とその保全」
講師　和歌山大学教育学部　教授　古賀　庸憲氏

会　場　紀の川市立西貴志コミュニティーセンター2F 大集会室
所在地　紀の川市貴志川町長山24



対　象　一般 100名
参加費　無料

申込み及び問い合わせ先
NPO法人アイヌ文化研究会　TEL 0736-64-3179（担当：高田）

本講座の企画団体

特定非営利活動法人

アイヌ文化研究会

私達は、先住民族と言われているアイヌの人達が、古代より長い年月にわたり、口承で語り継がれてきた素晴らしい文化を今、アイヌ民族として、誇りを持って後世に伝えようとしている活動に共鳴し、文化や真の歴史を学びながら交流を重ねています。

また、アイヌ文化の高い精神性を若い世代につなげる機会をつくり、今、必要とされている自然との係わり方や生活の知恵等を教えて頂き、より深くアイヌを理解して頂くことを目的として活動を続けています。

ちなみに、私達がアイヌの方々と交流を重ねて、丁度10年目になります。

また記念すべきは、やっと日本の先住民族として、国連で認められたというニュースが入ったのは、まだつい最近のことですが、これを機に、私達は更なる理解を深める必要があると認識しています。

これからも、機会があるたびに、是非、皆様方にも、学びを共にして頂けることを願っております。

阿寒湖 まりも祭り

このお祭りは、まりもの乱獲により絶滅の危機を心配したアイヌ民族の人達が立ち上がり、まりもを元の湖に戻す様にとの呼びかけがきっかけで以来、このお祭りが毎年開催されております。
ちなみに今年で58回目の開催となりました。

過去10年間交流活動を続けてきた中での一コマです。

◀子ども達にアイヌの神話や歌を通してアイヌの理解と交流の輪を広げる為に開催しました。

▲アイヌの刺しゅう教室を開催
女性達に大変好評でした。

高等教育機関コンソーシアム和歌山

和歌山県内の高等教育機関（和歌山大学・和歌山県立医科大学・高野山大学・近畿大学生物理工学部・和歌山工業高等専門学校・和歌山信愛女子短期大学・放送大学和歌山学習センター・和歌山県）は、その知的資源を結集し、連携・協力し、より一層の地域貢献とその魅力発揮を目指して「高等教育機関コンソーシアム和歌山」を組織しています。

本事業は、県内の市町村自治体やＮＰＯから地域の課題解決や活性化に役立つ講座の企画をご提案いただき、共同で開催することで、共に学び、発展し合うことを目的としています。

詳しくはホームページをご覧下さい
http://www3.cypress.ne.jp/cw/